

目的

～福祉教育・福祉体験を通して～

○函館市福祉人材バンク、函館市社会福祉協議会、教育機関の3者が三位一体の連携をとることにより、福祉体験等を通して、将来的な福祉人材の確保を目的とし、福祉の仕事の魅力を発信すると共に仕事の理解を深める。

取組内容

① 福祉教育育成校との連携強化 ～北海道教育大学と社協との包括事業連携協定締結～

- ・学生による地域福祉コーディネーター体験を通して福祉のお仕事の魅力を確認
- ・福祉施設職員による福祉のお仕事の魅力発信や施設見学による理解促進
- ・「まなびプロジェクト」の開催により、社協職員が講師としてノーマリー教室を実施し、福祉のお仕事を体験
(体験内容:高齢者疑似体験、車椅子体験等 参加者数:令和7年度 約85名、令和8年度 約130名)
- ・福祉養成校との連携強化 - 講師の派遣等

② 学童・生徒による福祉教育推進事業 ～介護のしごと魅力発信教室を実施～

- ・小学生、中学生、高校生に向けた介護分野メニューの拡充
(ex.介護ロボット体験、高齢者疑似体験などの体験メニューや、施設職員の講話により福祉への理解を深める)

③ 地域の方々に向けて福祉の魅力を発信

- ・社協主催の地域交流の場である、総合福祉センターまつりの中で社協やバンクの取り組みと福祉の魅力を地域の方々へアピール



「まなびプロジェクト」



「学生による施設見学」



「介護ロボット体験・介護のしごと魅力発信教室」



PRメッセージ

介護のしごとの魅力などの「福祉の魅力」を多くの方々に向けて発信することを目的に、地域の方々のみならず、小・中学生、高校生、大学生に対し、福祉体験などを通して福祉についての理解を少しでも深めていただけるように様々な事業を実施しています。